

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築積算											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	赤石 辰夫			実務経験	有	職種	施工管理 1 級建築施工管理技士				
担当教員紹介											
建設会社で現場監督として勤務し、2 階建ての信用金庫支店から 1 4 階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層 RC 造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。											
授業概要											
教科書を中心に解説を進め、例題を用いて数量の計算方法を学ぶ。その後に、計算レポート提出用の設計図面により各自で指定事項の数量拾いを行い、提出された成果物の評価を行う。											
到達目標											
建築の国家意見で出題される程度の積算の専門用語を覚えるために、概要の部分はしっかり覚える必要がある。また、授業は主に計算して正解を導き出すことが結果となるが、そのためには設計図や設計条件から必要となる寸法や数値を見つけることが必要で、その能力を練習問題などを繰り返すことで身に付ける。また、単純な電卓の操作ミスや数値の1ケタの間違い、拾い忘れなどが結果に大きく影響するので、単純作業ながらミスをしない集中力も養う。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する									
計算レポート	30%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する									
平常点	20%	普段行われる演習問題の理解度や取り組みについて判断する									
履修上の注意											
計算は四則計算のみなので単純ではあるが、細かい計算を繰り返して総計を出すので他者に頼らず各自がしっかりと行うこと。計算は電卓を使わないとできないので、必ず持参すること。											
教科書教材											
初めての建築積算／資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	積算の概要 1 建築の明細積算と価格の仕組み										
第2回	積算の概要 2 建築数量積算基準による積算の種類・区分・順序の理解。内装仕上工事の概略計算等										
第3回	数量拾い 設計図書の読み方										
第4回	基礎コンクリートの数量 1 積算基準の条件と数量拾いの基本										
第5回	基礎コンクリートの数量 2 計算方法										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築積算	
第6回	基礎コンクリートの数量3 コンクリート数量の積算実習
第7回	土工事の数量1 根切り工事の解説と根切りの計画数量
第8回	土工事の数量2 計算方法
第9回	土工事の数量3 根切り数量の積算実習
第10回	躯体コンクリートの数量1 構造設計図の読み方
第11回	躯体コンクリートの数量2 計算方法
第12回	躯体コンクリートの数量3 コンクリート数量の積算実習
第13回	躯体鉄筋の数量1 鉄筋工事の解説と鉄筋の所要数量
第14回	躯体鉄筋の数量2 計算方法
第15回	屋根の数量 勾配屋根の伸び率と例題による計算方法